
山田耕作・杉野孝雄：Radula acuminata 静岡県でみつかる

Kohsaku YAMADA* & Takao SUGINO** : *Radula acuminata*

Newly Found in Shizuoka Prefecture, Central Japan

Radula acuminata STEPH. ヨウジョウケビラゴケ (Radulaceae, ケビラゴケ科) は東南アジアに広く分布する epiphyllous の代表種である。

本種の一派は沖縄諸島を北上して、九州、四国一円をかすめ、紀伊半島の熊野灘沿岸を点在しながら伊勢市（三重県）付近まで知られていた。

最近、機会があって山田は服部植物研究所（日南市）の標本庫で *Radula constricta* ? とラベルされた疑問種の一品を調べることができたが、検鏡した結果 *Radula acuminata* STEPH. であることが判かった。

資料は杉野が静岡市平野（旧大河内村）地内を流れる黒部沢川が安倍川と接する河原近くの林内で採集したものである。所産品は放置されたシイタケ栽培のホダ木上でみられたが、本種は北上するにつれ epiphyllous 本来の生態的な性質を失ない紀伊半島の資料では樹幹、岩上にまではいおっている。

この産地は、本種の最北限地であり、静岡県新産である。標本は服部植物研究所(NICH)に保管してある。

Specimen examined. Shizuoka Pref. ; Shizuoka-shi, Hirano, on decaying logs under forest, 200m alt., Jan. 15, 1960 Coll. T. SUGINO no. 41602

Radula acuminata STEPH. was found in Shizuoka Prefecture. This record is the northernmost locality of this species.

* 三重県立宇治山田高等学校

** 静岡県立藤枝西高等学校